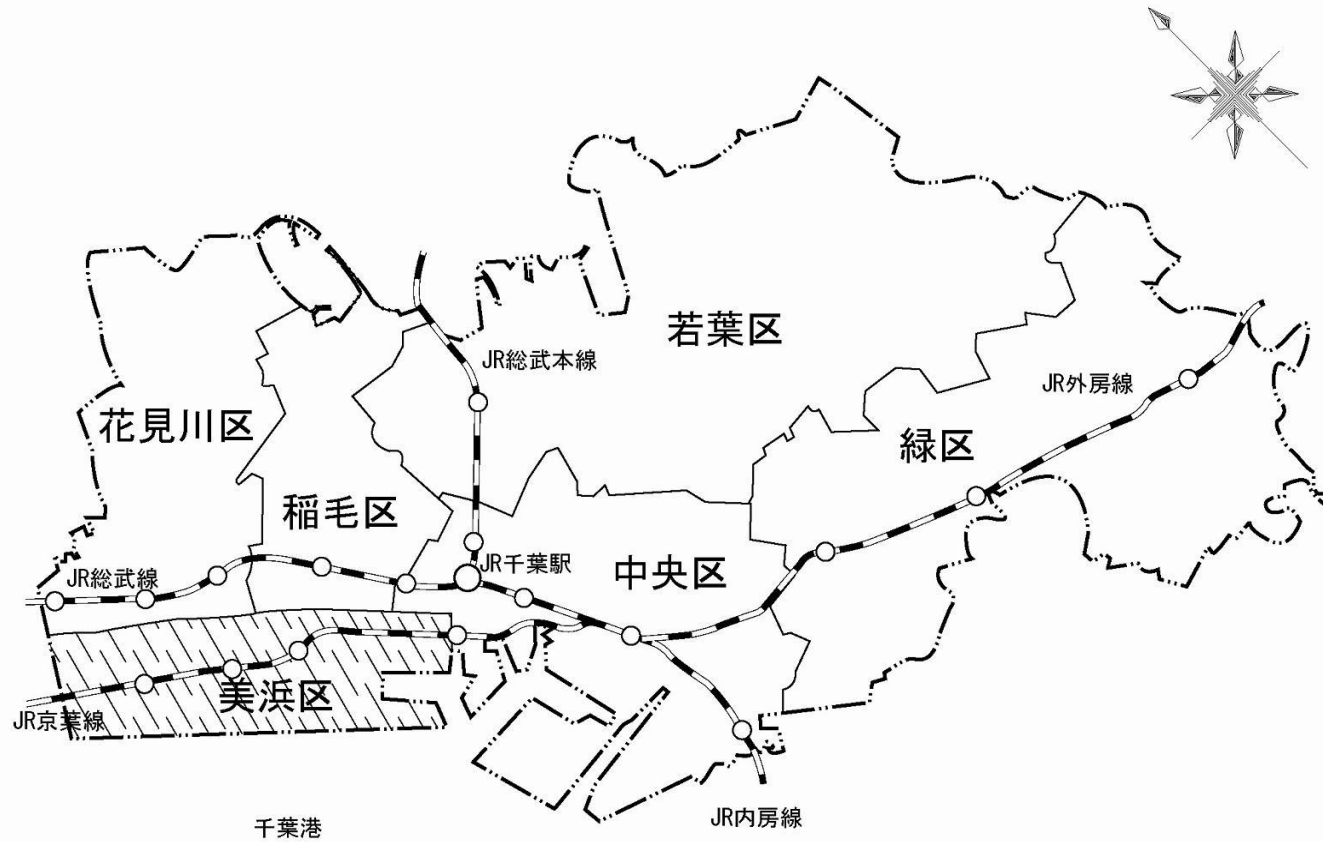


(別紙)

計画区域 千葉市美浜区（磯辺、真砂、幕張西他）

※計画区域及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。



計画区域 千葉市美浜区（磯辺、真砂、幕張西他）

※計画区域及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。



計画区域 千葉市美浜区（磯辺、真砂、幕張西他）

※計画区域及び事業を実施する場所がわかる図面を添付してください。



(様式 1-3)

千葉市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	市街地液状化対策事業		事業番号	D-19-1
交付団体	千葉市		事業実施主体 (直接/間接)		千葉市 (直接)	
総交付対象事業費	5,581,500 (千円)		全体事業費		7,489,500 (千円)	
事業概要						
<p>千葉市美浜区は東日本大震災で液状化による被災を受けたことから今後の被害を軽減するために都市防災推進事業 (市街地液状化対策事業) を活用して、宅地と道路等の公共施設の一体的な液状化対策を実施している。千葉市復興交付金事業計画区域内 (143ha) で、住民の意向が示された磯辺 3 丁目地区 (12.9ha)、磯辺 4 丁目地区 (7.1ha) の 2 地区等で事業を推進している。24 年度に地質調査及び工法検討、解析などを行い、その後実証実験や詳細な地質調査を実施した結果、前述の 2 地区では地下水位低下工法を採用することとして住民の同意も得られたことから、地区毎に工事着手して早期の事業完了を目指す。</p>						
当面の事業概要						
<p><平成 24 年度> 液状化対策を行う上で必要となる地質調査を行うとともに、その結果を解析し、液状化対策事業対象箇所での工法の検討を行った。</p> <p><平成 25 年度> 前年度行った調査を元に、磯辺 4 丁目地区での地下水位低下工法の実証実験を行った。また、前年度の検討に関する補足の地質調査を行った。</p> <p><平成 26 年度> 磯辺 4 丁目地区での合意形成が整い、事業実施に向けた地質調査、設計、及び、家屋調査を行った。</p> <p><平成 27 年度> 磯辺 4 丁目地区は平成 28 年 1 月に工事着手した。磯辺 3 丁目地区は地質調査・検討を行い、事業計画に対する住民の合意形成が整った。真砂 5 丁目地区は地質調査・設計を行った。</p> <p><平成 28 年度> 磯辺 4 丁目地区は、支障物を移設しながら工事を実施する。磯辺 3 丁目地区は、設計・家屋調査を行い、平成 28 年 10 月に工事着手した。真砂 5 丁目地区は、事業計画策定後住民の合意形成を図ったが、同意が得られず事業化は厳しい状況である。</p> <p><平成 29 年度> 磯辺 4 丁目地区は、本体工事を完了させ地下水位低下開始を目指す。磯辺 3 丁目地区は、支障物を移設した箇所から工事を実施して早期の事業完了を目指す。</p>						
東日本大震災の被害との関係						
<p>液状化現象により、家屋の傾斜や道路の陥没及びマンホールの隆起等が発生し、道路の寸断や断水、土砂の堆積など、市民生活に重大な影響を及ぼしたことから、公共施設と宅地の一体的な液状化対策事業を実施する。</p>						
関連する災害復旧事業の概要						